

- 問1 江戸幕府が「武家諸法度」を定めた、一番の目的は何ですか。
- 問2 1600年に行われた「関ヶ原の戦い」で勝利し、その後に江戸幕府を開いた人物はだれですか。
- 問3 天下統一を進めていた織田信長が、本能寺でせめられて自害することになったとき、信長をせめた家臣はだれですか。
- 問4 江戸時代に、大名が一年おきに自分の領地と江戸を行き来しなければならない決まりのことを何といいますか。
- 問5 江戸時代に改良され、農業の生産力を高めるのに役立った「千歯こき」や「備中ぐわ」は、どのような目的で使われた道具ですか。
- 問6 豊臣秀吉が百姓から武器を取り上げて刀狩をおこなったのは、何を防ぐためですか。
- 問7 日米修好通商条約によって、貿易のために開くことが決められた5つの港はどこですか。
- 問8 江戸幕府の第15代将軍で、政権を朝廷に返す「大政奉還」を行った人物はだれですか。
- 問9 薩摩藩（鹿児島県）と長州藩（山口県）が、江戸幕府をたおすために協力することを約束した同盟を何といいますか。
- 問10 日米和親条約によって、日本がアメリカに対して開くことを決めた2つの港はどこですか。
- 問11 豊臣秀吉が百姓から刀や鉄砲などの武器を取り上げた政策を何といいますか。
- 問12 織田信長が安土城の城下で行った、商人を集めて自由な営業を認めるなどの政策を何といいますか。
- 問13 江戸時代に出版された「解体新書」は、もともと何語の医学書を翻訳したものでですか。
- 問14 1603年に徳川家康が江戸に開いた、武士の政治の仕組みを何といいますか。
- 問15 えどじだい ちょうにん のうみん こども よみ かき まなぶ かよつ ぼしよ なんと
江戸時代に、町人や農民の子どもたちが読み書きやそろばんを学ぶために通った場所を何といいますか。
- 問16 日本町は、どのような貿易が盛んだったところに東南アジア各地につくられましたか。
- 問17 江戸時代の大名の種類のうち、徳川家と血のつながりがある「親類（しんるい）」にあたる大名のことを何と呼びますか。
- 問18 江戸時代に活躍した近松門左衛門は、どのようなものの脚本を多く書きましたか。
- 問19 前野良沢らとともに、オランダ語の医学書をほん訳して『解体新書』を出版した人物は誰ですか。
- 問20 キリストの像などが描かれた板を踏ませることで、キリスト教の信者を見つけ出し、取りしめるために行われた方法を何といいますか。
- 問21 江戸時代に、「東海道五十三次」などのすぐれた浮世絵をえがいた人物はだれですか。
- 問22 1867年に、江戸幕府の15代将軍である徳川慶喜が、政治を行う権利を朝廷に返した出来事を何といいますか。
- 問23 豊臣秀吉が朝鮮へ兵を送ったのは、どこの国を征服しようとしたからですか。